

# エコ・へるす

〇〇●●長野県環境保全研究所ニュース 平成27年(2015年)6月30日発行 ●●〇〇  
 安茂里庁舎 〒380-0944 長野市安茂里米村 1978 TEL.026-227-0354 FAX.026-224-3415  
 飯綱庁舎 〒381-0075 長野市北郷 2054-120 TEL.026-239-1031 FAX.026-239-3929  
<http://www.pref.nagano.lg.jp/kanken/index.html> Email : [kanken@pref.nagano.lg.jp](mailto:kanken@pref.nagano.lg.jp)

## 最近の話題

## デング熱に注意しましょう

デング熱は、デングウイルスに感染することでおこる急性の熱性感染症で、皮膚の発疹等が主な症状です。一部の患者は経過中に重症化し「デング出血熱」「デングショック症候群」等になることが知られています。デング熱は、デングウイルスを保有する蚊にヒトが刺されることによって感染(蚊媒介性)し、ヒトからヒトへ直接感染することはありません。その主な媒介蚊は、ネッタイシマカとヒトスジシマカで、ネッタイシマカは日本には常在していませんが、ヒトスジシマカは、長野県内は勿論のこと日本のほとんどの地域に生息しています。

デング熱の国内感染症例は過去60年以上報告されていませんでしたが、平成25年8月に日本国内を旅行し、帰国後にデング熱を発症したドイツ人患者の発生が報告され、日本国内での感染が疑われました。さらに、平成26年8月以降相次いで海外渡航歴のないデング熱患者が発生し、都立代々木公園等で蚊に刺されたことが確認され、採取した蚊からデングウイルスが検出されたことから国内でデングウイルスに感染したと考えられました。

長野県では、感染症発生動向調査を開始した平成11年から平成26年までに15例(累計)の届出があり、全て海外で感染した事例でした。国外では、アジア、中南米、アフリカ等で毎年約5,000万から1億人の患者が発生していると考えられています。このためデング熱患者が入国する可能性は高く、これから蚊の発生時期を迎える国内において、再び

昨年と同様に感染が拡大するのではないかと危ぶまれています。感染拡大を防ぐには早急に診断をし、デング熱患者が蚊に刺されないようにする必要があり、当所では迅速診断キットによるNS1抗原検査やリアルタイムPCR法による遺伝子検査により、ウイルスを迅速に検出できる体制を整えています。

デング熱に対する治療は、対症療法となります。そのため、予防法としては蚊に刺されないように注意することです。できるだけ皮膚の露出部分を少なくし、虫除け剤を使用する等感染予防に努めてください。また、デングウイルスを媒介するヒトスジシマカは空カン、古タイヤ等の水たまりから発生しますので、蚊が発生しないよう家の周りにも気を配ってください。

(藤井 ますみ [kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp](mailto:kanken-kansen@pref.nagano.lg.jp))

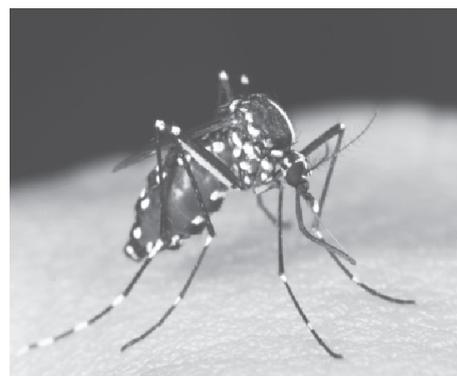


写真 ヒトスジシマカ  
(国立感染症研究所 昆虫医科学部から)

## 目次

- ・最近の話題「デング熱に注意しましょう」 . . . . . 1
- ・トピックス「長野県の酸性雨について」 . . . . . 2
- ・トピックス「長野県内の温暖化影響と適応策の報告書を発行しました」 . . . . . 3
- ・報告「中国・河北省と環境保全分野で協定を締結しました」 . . . . . 4
- ・お知らせ「平成27年度 出前講座のテーマがリニューアルされました」 . . . . . 4

